

第5章3節 日清・日露戦争と近代産業 教科書p174～185 資料集p162～176

教科書を読み、空欄に語句を書き込もう 【 】…重要語句 []…国・地域 〈 〉…人名 ()…その他

1 欧米列強の侵略と条約改正

- (1) 欧米諸国の発展…背景に(資本主義)の発展⇒製鉄, 機械, 鉄道などの産業が成長
- ・欧米諸国の列強…イギリス, アメリカ, フランス, ドイツ, ロシアなど
 - ⇒資源や市場を求めてアジアや[アフリカ]へ進出し, これらの地域を(植民地)に…このような動きを【 帝国 】主義という
- (2) 日本の課題…関税自主権が無い, 領事裁判権など(不平等)条約の改正
- ・外務卿 〈 井上馨 〉…鹿鳴館で舞踏会を開くなど, 【 欧化 】政策を行う
 - ・外務大臣 〈 大隈重信 〉…外国人を裁く裁判に外国人の裁判官を参加させた→激しい反対
 - ・外務大臣 〈 陸奥宗光 〉…日英通商航海条約を結び(領事裁判権)の撤廃に成功
 - ・外務大臣 〈 小村寿太郎 〉…1911年に(関税自主権)の完全な回復を実現
- (3) 東アジアの情勢…ロシアがシベリア鉄道建設により東アジア進出を目論む
- ⇒朝鮮半島で日本とロシアが勢力争い

2 日清戦争・日露戦争とその後

(1) 日清戦争とその後

- ・日清両国の対立で朝鮮の政治・経済が混乱
- ⇒外国人排除・政治改革を求め東学党の農民が蜂起 (= 【 甲午農民戦争 】)
- ・鎮圧のため朝鮮政府は清に出兵を求める⇒日本も対抗して出兵⇒【 日清 】戦争へ発展
- ・結果…日本の勝利⇒1895年【 下関 】条約が結ばれる
- ①朝鮮の独立を認める ②日本は, [台湾], [遼東] 半島, 澎湖諸島を獲得 ③賠償金2億^{テール}両
- ・日清戦争後, [ロシア] がドイツとフランスとともに日本に遼東半島返還を要求 (= 【 三国干渉 】)
- ⇒日本は要求を受け入れたが, ロシアへ対抗すべく, 賠償金の大半を(軍備)拡張に使う
- ⇒工業化を推進…議会の承認のため, 藩閥政府と政党の協力⇒伊藤博文が【 立憲政友会 】を結成

(2) 日露戦争とその後

- ・清の農民による自衛組織が「扶清滅洋」を唱え列強の勢力を排除すべく宣戦布告…【 義和団 】事件
- ⇒日・露が中心となった列強の連合軍により鎮圧される
- ・その後ロシアは軍を[満州]に留める…韓国を勢力範囲として確保したい日本としては困る
- ⇒[イギリス]はロシアに対抗するため日本と手を組んだ…【 日英 】同盟

※日本では色々な主張があった

- ・政府内で意見が割れる…ロシアは満州, 日本は韓国をそれぞれ支配するよう交渉すべき…実力で韓国の利益を獲得すべき(開戦論)
- ・社会主義者 〈 幸徳秋水 〉・キリスト教徒 〈 内村鑑三 〉…戦争は避けるべき(非戦論)
- ⇒新聞は開戦論を支持し世論を動かした⇒1904年2月 開戦に踏み切り, 【 日露 】戦争が始まる
- ・日露戦争の対立構造

[イギリス]・[アメリカ] →→→→日本 V s . ロシア

資金援助

- ・大きな犠牲と資金不足により日露両国は戦争の継続が困難に

- ・〈東郷平八郎〉率いる連合艦隊が日本海海戦で勝利
- ・1905年【ポーツマス】条約…〔アメリカ〕の仲介によりが結ばれた日露の講和条約
 - ①韓国における日本の優越権を獲得 ②旅順・大連の租借権，長春以南の鉄道の利権を獲得
 - ③北緯50度以南の樺太の割譲 ④沿海州，カムチャッカ半島沿岸の漁業権の承認
- ⇒日本は列強としての地位を固め，アジア諸国に対する優越感が高まった
- ⇒多大な被害を受けたが，ロシアからの（賠償金）が得られなかったため，東京で（日比谷焼き討ち事件）などの暴動が起こった

(3) 韓国の植民地化・満鉄の設立

- ・ポーツマス条約で日本が得たもの
 - 日本は韓国における優越権を獲得
 - ⇒韓国統監府を置き統治（初代統監：〈伊藤博文〉）＝韓国の植民地化
 - But! 義兵による抵抗運動が起こる（義兵運動）
 - ↳ 〈安重根〉による〈伊藤博文〉の暗殺
 - ⇒1910年【韓国併合】…朝鮮総督府の設置，土地調査事業，日本人に（同化）させる政策などを行う
 - ↳日本語・日本史を教える，韓国を「朝鮮」と呼ぶなど
 - 長春以南の鉄道を獲得
 - ⇒【南満州鉄道株式会社】を設置…炭鉱，製鉄所，都市建設などを進める

(4) 中華民国の成立

- ・列強による清の分割が引き金となり，革命運動が起こる
- ・【辛亥】革命…【三民】主義を唱えた〈孫文〉が中心
 - ①清の打倒と民族の独立 ②専制政治の廃止と民主化 ③国民生活の安定
- ⇒多くの省が清から独立。〈孫文〉が臨時大統領となり〔中華民国〕が成立
- ・〈袁世凱〉…孫文から臨時大統領の地位を譲り受けるが，独裁政治を行うようになる
- ⇒各地の（軍閥）によってバラバラに支配

3 産業革命の進展

- (1) 1880年代後半…（紡績）・製糸などの軽工業が発展
 - ↳最新式の機械（動力源の石炭…北海道や福岡の〔筑豊〕地域で採掘）
 - +
 - 安い給料の（女性）の工場労働者 により発展
- ⇒日露戦争後 日本は世界最大の綿糸輸出国に
- ・重化学工業…官営の【八幡製鉄所】の建設
- ⇒産業発展の影で公害が社会問題に
- …（足尾銅山）鉱毒事件に〈田中正造〉が立向う（教p192）

※これらの発展を支えたのは交通機関の発達

- ・1889年（東海道線）全線開通や海外航路の発展が生産や貿易を支えた

(2)資本家と労働者・地主と小作人

- ・低賃金や(長時間)労働など労働環境の悪化⇒(労働組合)の結成, 労働争議の増加
 …1911年 (工場法)の制定(12歳未満の就業禁止, 労働時間の制限を定めたが, 例外も多い)
- ・【 財閥 】の成長 (三井, 三菱, 住友, 安田など)
- ・生活が苦しくなった(小作人) …子供を働きに出す, 副業を営む
 ↓
- ・経済力をつけた(地主) …農民から農地を買い, 株式へ投資

4 近代文化の形成

(1)日本の美と欧米の美

- ・明治維新…日本の伝統を否定, 欧米化を進める

↓

- ・19世紀末…〈 フェノロサ 〉と岡倉天心の努力→日本文化が見直される
 ⇒日本の伝統と欧米の技術が合わさった美術が生まれる

・日本画

「無我」

〈 横山大観 〉



「悲母観音像」

〈 加納芳崖 〉



「湖畔」

〈 黒田清輝 〉



・彫刻

「老猿」

〈 高村光雲 〉



・音楽

〈 滝廉太郎 〉「荒城の月」「花」

(2)新しい文章

- ・以前の文学：文語表現 ⇒ 新しい文学：(口語)表現 (言文一致)

↳ 〈 二葉亭四迷 〉が使用したことで広まる

〈 与謝野晶子 〉『みだれ髪』

〈 樋口一葉 〉『たけくらべ』

〈 森鷗外 〉『舞姫』

〈 夏目漱石 〉『吾輩は猫である』

} ロマン主義 (個人の感情などを重視)

(3)学校教育の普及

- ・小学校の就学率…1907年には(97)%に
 ⇒義務教育が3, 4年→(6)年に 女子教育も重視
- ・科学の研究…黄熱病の病原体を研究した 〈 野口英世 〉や,
 破傷風の血清療法を研究した北里柴三郎による伝染病の研究

内容確認問題

問1 日本は韓国を植民地にするまでの過程で、清とロシアの間でどのような動きがあったか説明しよう。

○ポイント

- ・日清戦争の経過と結果
- ・日露戦争の経過と結果
- ・ポーツマス条約を結んだことで韓国併合をどのように進めたか

第6章1節 第一次世界大戦と日本 教科書p198～211 資料集p177～189

教科書を読み、空欄に語句を書き込もう

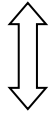
【 】…重要語句 []…国・地域 〈 〉…人名 ()…その他

1 第一次世界大戦における各国の動き

(1) 19世紀末～1914年

① ヨーロッパの動向

- ・ビスマルクの指導によりドイツが台頭…【三国同盟】(ドイツ, オーストリア, イタリア)を結ぶ
- ・3B政策…ベルリンからバグダッドへ鉄道を作り, アジアにおけるイギリスの利益を奪おうとする



「武装した平和」へ

- ・フランス: [ロシア] と同盟を結び, 台頭してきたドイツに対抗(露仏同盟)
- ・イギリス: 3C政策…ケープタウン, カイロ, カルカッタを鉄道で結ぶ計画
⇒日露戦争後…イギリスはロシアと協商を結び, フランスとも協商を結ぶ
⇒【三国協商】(イギリス, フランス, ロシア)

② 開戦のきっかけ

- ・バルカン半島の様子…オスマン帝国の衰退によりスラブ民族の独立運動が起こる
↳【ヨーロッパの火薬庫】という状態に
 [ロシア]…独立運動を支持
 [オーストリア]…独立運動をおさえる ⇒それぞれがバルカン半島に進出
- ・【サラエボ】事件…オーストリアの皇太子夫妻がスラブ系セルビア人に暗殺される
⇒この事件をきっかけに, オーストリアがセルビアに宣戦布告し,
イギリス, フランス, ロシアを中心とする連合国(協商国)と
ドイツ, オーストリア, オスマン帝国を中心とする同盟国による【第一次世界大戦】が始まる
↳日本の参戦…日英同盟により, (連合国)側に参戦

(2) 第一次世界大戦中の動向

① 戦争は国力を使い果たす【総力戦】へ

- ・(ざんごう)戦で機関銃の使用→莫大な被害
- ・(新兵器)の使用(戦車, 飛行機, 毒ガス, 潜水艦など)
- ・兵士と物資を戦地へ送るため, あらゆる技術や資源を総動員
- ・労働者や女性, 植民地の人々も貢献

② [アメリカ]の参戦…ドイツのUボートによりイギリス船が攻撃され, 同乗していたアメリカ人も大量に犠牲になったから ⇒(連合国)側に参戦

③ ロシア革命

- ・日露戦争中からロシアでは(社会)主義が勢力を拡大
- ・戦争の長期化, 皇帝の専制に民衆の不満が高まる→ストライキや反乱が多発
⇒1917年 労働者の代表会議(ソビエト)が各地に設けられる
【ロシア革命】…社会主義者〈レーニン〉の指導によりソビエトの政府が誕生
⇒社会主義政策+民族自立を唱え, 第一次世界大戦から離脱
- ・英, 仏, 米, 日など…社会主義の拡大を恐れ, ロシアに対し【シベリア出兵】を行う

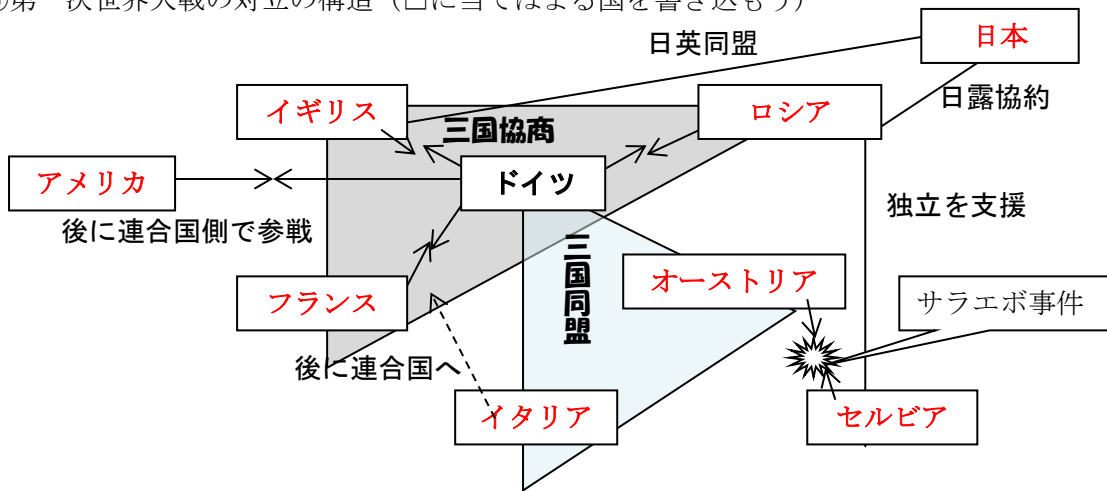
④日本の動き

- ・大戦中、中国に対し【二十一か条の要求】を示す
(ドイツの山東省の利権を引き継ぐ、旅順・大連・満州の権益の延長・拡張 など)

⑤第一次世界大戦の終結

- ・1918年 連合国の勝利 ⇒(パリ講和)会議…戦争責任をドイツに押し付ける
- ・1919年 【ベルサイユ】条約…ドイツの領土縮小、巨額の(賠償金), 軍備縮小、植民地を失う

⑥第一次世界大戦の対立の構造 (□に当てはまる国を書き込もう)



(3) 第一次世界大戦後の動向

- ①1918年 パリ講和会議…【民族自決】の原則が唱えられる
⇒東ヨーロッパで小国が相次いで独立、しかしアジア・アフリカは植民地支配が進む

②アジアの民族運動

- ・中国…山東省の権益の返還を要求→パリ講和会議で拒否され、民衆の不満が爆発→反日運動へ発展
⇒1919年5月4日 【五・四】運動
- ・朝鮮…独立を目指す知識人による独立運動
⇒1919年3月1日 【三・一独立】運動→朝鮮総督府が鎮圧
- ・インド…戦後に自治を認める約束をイギリスが破る
⇒〈ガンディー〉の指導による非暴力・不服従の抵抗運動

- ③1920年 【国際連盟】の発足…世界平和と国際協調を目指す
But! [アメリカ]の不参加、武力による制裁ができないなど、影響力は小さい

- ④1921年 【ワシントン】会議…海軍の縮小、太平洋地域の現状維持、中国の独立と領土の保全
米・英・仏・日による四か国条約、日英同盟の解消
山東省のドイツ権益を中国に返還 など

⑤革命後のロシア

- ・1922年 【ソビエト社会主義共和国連邦】(略称:【ソ連】)が成立
- ・【共産主義】の実現をかかげた共産党による指導
- ・1928年から〈スターリン〉の【五か年計画】が始動
⇒重工業の増強、農業の集団化により国力を伸ばす

⑥大衆の時代

- ・戦後、欧米諸国で(普通選挙)による議会政治が普及
- ・1919年 ドイツの【 ワイマール憲法 】憲法制定…労働者の権利保護，社会福祉政策導入
- ・アメリカで新しい文化が誕生…ラジオや自動車の普及，ディズニーなど

② 大正時代の日本

(1)大正時代の政治

- ・第一次【 護憲運動 】…議会を無視した政治を行う桂太郎内閣に対し，藩閥政府を倒し，
憲法に基づく政治を要求する運動⇒桂内閣の退陣
- ・大戦景気…第一次世界大戦により連合国への輸出増+欧米からの輸入が止まり，国内で新たに産業がおこる
But! 好況による物価の上昇による生活苦
シベリア出兵による労働力不足+それによる米価上昇を見越した商人らによる米の買い占め
⇒【 米騒動 】が全国に広がる…これにより首相の寺内正毅が退陣
- ・「平民宰相」の〈 原敬 〉が内閣を組織…本格的な【 政党 】内閣

(2)大正【 デモクラシー 】の思想

- ・政治学者〈 吉野作造 〉：【 民本主義 】を主張
…天皇主権のもと，一般民衆の意向に沿って民主政治を実現すべき
- ・憲法学者〈 美濃部達吉 〉：天皇機関説を主張
…天皇は国家の最高機関として，憲法に従って統治すべき
- ・労働運動…労働者によるストライキなどの【 労働争議 】が多発→労働組合が全国組織へ発展
- ・農村…地主に対して小作人による【 小作争議 】が多発
- ・社会主義運動…ロシア革命の影響で共産主義の関心が高まる
- ・解放運動…【 全国水平社 】による部落開放運動，アイヌ民族の解放運動，
青鞞社を結成した〈 平塚らいてう 〉による女性解放運動など
⇒女性の社会進出が進み，(バスガール)や(電話交換手)など働く女性が登場
- ・普通選挙を求めて
1925年【 普通選挙 】法成立 ⇔ 【 治安維持 】法成立
⇒(納税額)による制限をなくし， ⇒共産主義に対する取り締まり
満(25)歳の男子に選挙権
⇒有権者は約(4)倍に増加

(3)大正時代の生活

- ・教育…中学校・高等女学校への進学率上昇，大学や専門学校の増加
- ・大衆文化…新聞，総合雑誌，文庫本の出版，活動写真(映画)の政策，【 ラジオ 】放送の開始(1925年)
- ・文学…自然主義に反し個人を尊重した志賀直哉などの(白樺)派による小説
〈 芥川龍之介 〉による知性的な短編小説や，谷崎潤一郎による小説
小林多喜二など，労働者の生活を描いた(プロレタリア)文学
- ・音楽…〈 山田耕筰 〉が日本で最初の職業オーケストラを組織
- ・【 関東大震災 】の発生…1923年，東京・横浜を中心に起こったマグニチュード7.9の大地震

内容確認問題

問1 第一次世界大戦前～終戦後までの世界各国の様子はどのようなものであったか、時期を3つに分けて、それぞれ説明しよう。

① 第一次世界大戦開戦までのヨーロッパ内ではどのような対立があったか。

○ポイント

- ・三国同盟，三国協商という構造ができた背景
- ・なぜこの二つの同盟が対立していたか
- ・バルカン半島でどのような問題が発生しており，どの国がどのように関係していたか

② 戦時中の様子は今までの戦争とどのように違うか。

○ポイント

- ・新しく何を使用し，どのような戦い方をするようになったか
- ・どのような人々が戦争に関わっていたか

③ 戦後，世界にどのような変化があったか。

○ポイント

- ・パリ講和会議で唱えられた民族自決の原則は，東ヨーロッパの小国やアジア，アフリカの国々にどのような影響を与えたか
- ・ベルサイユ条約によりドイツはどのような処分を受けたか
- ・世界平和を実現するために何が設置されたか
- ・日本では経済面でどのような影響があったか

第6章2節 世界恐慌と日本の中国侵略 教科書 p 212～221 資料集p190～197

教科書を読み、空欄に語句を書き込もう 【 】…重要語句 []…国・地域 〈 〉…人名 ()…その他

① 世界恐慌による欧米の影響

(1) 第一次世界大戦後のアメリカ

- ・アメリカの経済力の拡大が生産過剰を招き、ヨーロッパの復興によりアメリカの輸出が低下
- ⇒1929年 ニューヨーク株式市場で株価が大暴落→取り付け騒ぎが起こる
- ⇒銀行が相次いで倒産、企業もお金を借りられず倒産、失業者の増加
- ⇒恐慌は世界中に広まり、不況をもたらした…【.....**世界恐慌**.....】の発生

(2) 世界恐慌への各国の対応

①アメリカ…1933年 〈.....**ルーズベルト**.....〉大統領による【.....**ニューディール**.....】の実施

- ・公共事業をすすめ、失業者に仕事を与える
- ・農業や工業の生産を政府が調整
- ・労働組合の保護 など ⇒経済が回復に向かう

↓

貿易に関しては、保護貿易の立場を取る（輸出入を減らし、国内産業を守る）

②イギリスやフランス…【.....**ブロック経済**.....】を進める

- ・植民地を自国のブロックに組み入れ、その中だけで経済を成立させる
- ・その他の国の商品に対する（.....**関税**.....）を高くする

③ソ連…（.....**五か年計画**.....）を立てるなど独自の経済政策を採っていたため、不況の影響は受けなかった④ドイツやイタリア…民主主義を否定し個人よりも民族や国家を重視する【.....**ファシズム**.....】の台頭

新たな領土獲得を始める

- ・イタリア：（.....**ファシスト**.....）党の〈.....**ムッソリーニ**.....〉による独裁政治が始まる
- ⇒世界恐慌後、[.....**エチオピア**.....]を侵略し、1936年にイタリアに併合
- ・ドイツ：（.....**ナチス**.....）（国民社会主義ドイツ労働者党）の〈.....**ヒトラー**.....〉による政治
- ⇒第一次世界大戦後の深刻な不況を経済政策により回復させ支持を得る
- ⇒一方で人々の自由を奪う独裁政治を展開し、全体主義の国家を作った

② 日本の中国侵略

(1) 世界恐慌前後の日本の様子

- ・第一次世界大戦後…慢性的な不況にみまわれる
- ・1923年 関東大震災の発生
- ・1924年 加藤高明内閣成立、これ以降、憲政会と立憲政友会が交互に政権を担当
- ⇒「【.....**憲政の常道**.....】」…二大政党の党首が内閣を組織
- ・1927年 （.....**金融**.....）恐慌の発生…銀行の多くが休業
- ・1928年 初の男子普通選挙による衆議院議員選挙の実施 しかし政党政治は次第に行き詰まる
- ・1930年以降 世界恐慌の影響を受け、【.....**昭和**.....】恐慌発生
- 東北地方や北海道で凶作によるききん発生

⇒このような状況をうけて、労働争議や小作争議の件数が（.....増加.....）した
財閥への批判、汚職を行う政党への不信感も高まる

(2) 満州をめぐる中国と日本の動き

中国の動き

- ・1927年、国民党の〈.....**蒋介石**.....〉が南京に国民政府樹立
⇒国内統一を目指し、内戦が始まる

日本軍（関東軍）の動き

- ・満州を直接支配したい
⇒1928年、満州の軍閥〈.....**張作霖**.....〉を爆殺

⇒But! 後継者の張学良により、満州が国民政府の参加に入る

(3) その後の日本の動き

①【.....**満州事変**.....】の始まり

- ・1931年 関東軍が奉天郊外の〔.....**柳条湖**.....〕で鉄道爆破（これを中国の仕業だとした）
⇒この事件を機に満州における軍事行動を開始、満州の主要地域を占領
- ・1932年 溥儀を元首とする【.....**満州国**.....】建国を宣言
⇒But!（.....**国際連盟**.....）から承認されず、これに反発した日本は（.....**国際連盟**.....）を脱退
⇒その後、1937年 ドイツと（.....**日独防共協定**.....）を結び、ファシズム諸国に接近
- ・満州事変以降、（.....**軍需品**.....）の生産と政府の保護により重化学工業が発展
⇒新しい（.....**財閥**.....）が急成長し、朝鮮や満州に進出

②政党政治の行き詰り

- ・1830年 イギリスやアメリカなどと（.....**ロンドン海軍軍縮**.....）条約を結ぶ
⇒天皇権の侵害とみなされ、浜口雄幸首相が襲撃される→辞任へ
- ・満州事変後…多くの新聞が軍の行動を支持 新たに軍事政権を作る動きが起こる
- ・1932年5月15日 【.....**五・一五**.....】事件…海軍の青年将校が〈.....**犬養毅**.....〉首相を暗殺
- ・1936年2月26日 【.....**二・二六**.....】事件…陸軍の青年将校が大臣などを殺傷
⇒軍部の政治的な発言力が強くなり、政党内閣の時代が終わる

(4) 日中戦争と戦時体制

- ・日本…満州から中国北部に進出
- ・中国…毛沢東率いる共産党と蒋介石率いる国民党による内戦
⇒1936年 内戦の停止→抗日民族統一戦線を結成
- ・1937年 北京郊外の〔.....**盧溝橋**.....〕で日中両軍の軍事衝突
⇒【.....**日中**.....】戦争に発展
- ・日本軍：1938年（.....**南京**.....）を占領し、多数の中国人を殺傷（南京事件）
- ・国民政府：援蒋ルートを通じ米・英の支援を受け、首都を漢口・〔.....**重慶**.....〕に移しながら戦争を続行
- ・戦争の長期化…日本の【.....**戦時体制**.....】の整備
⇒軍事費の増強+国民の統制…言論・文化の統制が強化
- 1938年 【.....**国家総動員**.....】法…労働力や物資を議会の承認なしに動員
- 1940年 政党が解散し【.....**大政翼賛会**.....】に統合
- 1941年 小学校が（.....**国民学校**.....）になり軍国主義教育が行われる
- その他、朝鮮で【.....**皇民化政策**.....】（創氏改名などを強制）が進められる

内容確認問題

問1 世界各国に影響を及ぼした世界恐慌に対して、アメリカ、イギリス、ソ連、イタリア、ドイツ、日本はどのような対応をとったか説明しよう。

○ポイント

- ・アメリカは国内経済の面、貿易の面でどのような対応をとったか
- ・植民地を持っている国と持っていない国でどのような対応の違いがあったか
- ・ソ連はなぜ影響を受けなかったか
- ・日本は世界恐慌の影響を受けた結果、国内・国外でどのような動きがあったか。
また、国外への動きの結果、中国と日本の間で何を引き起こしたか

第6章3節 第二次世界大戦と日本 教科書 p 222～229 資料集p198～207

教科書を読み、空欄に語句を書き込もう 【 】…重要語句 []…国・地域 〈 〉…人名 ()…その他

1 第二次世界大戦の始まり

(1) ヨーロッパの動向

① ドイツの東方侵略…オーストリア，チェコスロバキア西部を併合

その後，ソ連と【 独ソ不可侵条約 】条約を結び，

1939年，【 ポーランド 】に侵攻

↳条約を結んでいるイギリス，フランスがドイツに宣戦布告

⇒【 第二次世界大戦 】の始まり

・ドイツが優勢に…デンマーク，ノルウェー，オランダ，ベルギーなど次々と攻撃

パリを占領しフランスを降伏させる。イギリスに対し空襲

⇒ドイツの戦況を見て【 イタリア 】がドイツ側で参戦

1940年9月 ドイツ・イタリア・日本と【 日独伊三国 】同盟を結ぶ

・ドイツの占領政策

⇒反抗する者を弾圧，強制労働や物資の没収など ⇔ ヨーロッパ各地で

(ユダヤ) 人を差別し，

【 レジスタンス 】

アウシュビッツなどの強制収容所に収容

(ドイツに対する抵抗運動) が起こる

② ソ連の動き…独ソ不可侵条約の秘密の取り決めに従い，ポーランド東部やバルト三国を併合

↳ポーランドは独・ソで分割する

エストニア・ラトビアはソ連，リトアニアはドイツの勢力範囲とする

⇒ドイツがバルカン半島へ侵攻…ソ連がドイツに対する不信感を高める

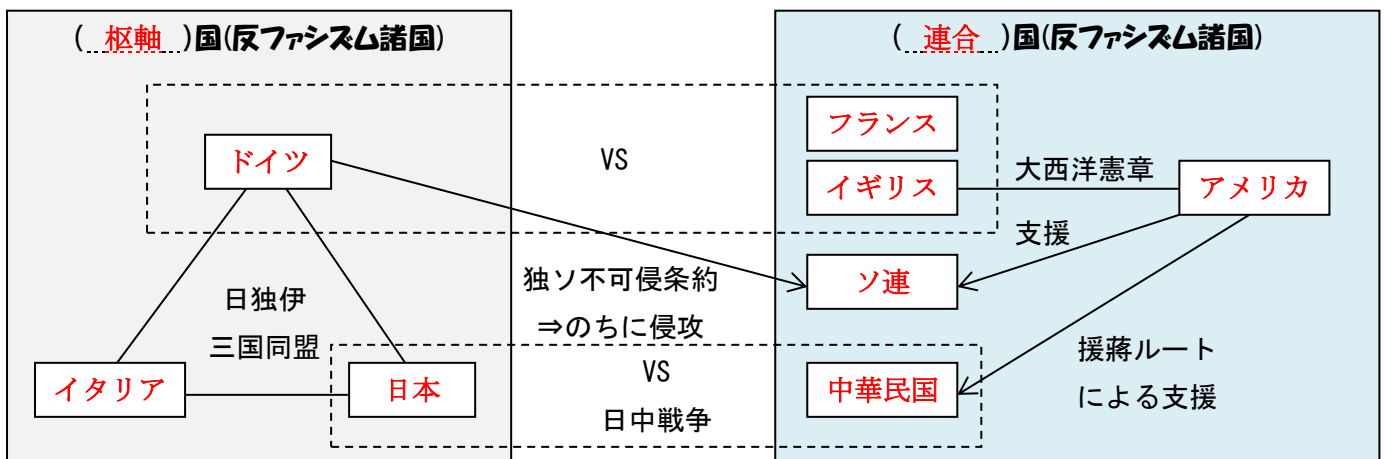
⇒ドイツとの戦争に備え，日ソ中立条約を結び，軍をヨーロッパに集中させる

⇒1941年 ドイツが独ソ不可侵条約を破棄し，ソ連に侵攻

③ アメリカの動き…イギリスやソ連に対し武器などの援助

⇒1941年 イギリスとともに (大西洋憲章) を発表…対ファシズムの決意，戦後の平和構想

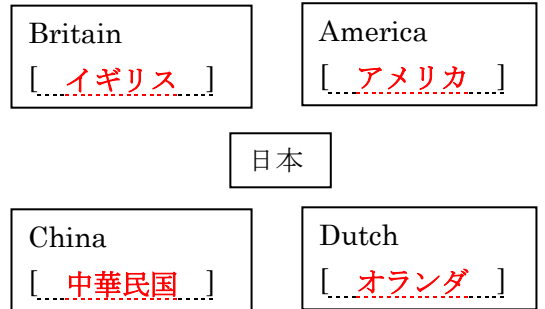
④ 第二次世界大戦・太平洋戦争の対立の構造 (□に当てはまる国を書き込もう)



2 太平洋戦争～終戦まで（日本を中心とした動向）

(1) 日中戦争の長期化

- ・日本は [東南アジア] に進出⇒援蔣ルートを断ち切り、石油・ゴムなどの天然資源を得るため
- ・1940年 フランス領インドシナ半島北部へ進出
日独伊三国同盟を結び、枢軸国の一員となる
「(大東亜共栄圏)」建設を唱える
- ・1941年 【 日ソ中立 】条約を結び、北方の安全を確保した上でインドシナ半島南部に進出
↑ このような日本の動きに対し…
- ・アメリカは日本への (石油) などの輸出禁止
⇒ABCD包囲陣により日本を経済封鎖
⇒日本軍の中国、インドシナ半島からの撤退を要求
↓ これに対し…
- ・東条英機内閣と軍部はアメリカとの戦争に踏み切る
- ・1941年12月8日 [ハワイ] の真珠湾を奇襲攻撃
鉄鉱石やゴムなどの資源を求め、イギリス領 [マレー半島] に上陸
⇒ 【 太平洋戦争 】 の始まり



(2) 太平洋戦争の動向

- ・1942年 [ミッドウェー] 海戦で日本敗北⇒日本軍の攻勢が止まる→戦争の長期化
- ・1943年2月 ソ連軍が [ドイツ] 軍を破る
日本、ガダルカナル島で敗北
9月 アメリカ軍・イギリス軍が [イタリア] を降伏させる
- ・1944年7月 サイパン島陥落 東条英機内閣が退陣
⇒それでも戦争を続行…アメリカに損害を与え有利な講和をしたいから
- ・1945年3月 [東京] 大空襲
[沖縄] に米軍が上陸、地上戦に… [沖縄] の人口の (1/4) が犠牲に
7月 【 ポツダム宣言 】 発表…日本の無条件降伏、民主化など
↳日本はこれを受け入れず戦争を続行
8月6日 広島に 【 原子爆弾 】 投下
8月8日 日ソ中立条約を破棄し [ソ連] が対日参戦
8月9日 長崎に 【 原子爆弾 】 投下
8月15日 【 ポツダム宣言 】 を受諾し、日本の降伏

(3) 戦時下の日本

- ・【 学徒出陣 】 …文科系の大学生が軍隊へ招集される
- ・(勤労働員) …労働力不足のため中学生や女学生が工場などで働く
⇒朝鮮や中国の人々を日本に連行し、(炭鉱) や工場での労働や徴兵を強制
⇒東南アジアでは日本語教育や労働の強制から、各地で (抵抗運動) が起こる
- ・集団【 疎開 】 …空襲の被害を避けるため小学生が農村へ
- ・(金属) の提供…兵器にするため、鍋や釜、寺の鐘などを提供

※戦争による死者：全世界で (5000) 万人…軍人よりも民間人のほうが多い
日本で約 (300) 万人

内容確認問題

問1 日中戦争から終戦までの過程で、日本は世界各国にどのように関わり、どのような結末を迎えたか説明しよう。

○ポイント

- ・中国との戦争はどのように始まったか（家庭学習プリント3の内容）
- ・日本は枢軸国，連合国のどちらにどのように関わっていったか
- ・日中戦争から太平洋戦争に発展した背景
- ・日本は降伏までの過程でどのような被害を受けたか